

日曜大衆日 日曜大衆日 日曜大衆日

### 平驛の構内賣店は 不景氣で賣上半減

#### 東鐵に納める營業料額 千圓から四百圓に下る

平驛構内の立賣營業人は現比較せば六百五十六圓の減  
在七名で昭和四年頃までは少であつて同營業の料額別  
不景氣だと云つても相當の上を上げれば左記の如くであ  
賣上げを占め東鐵局に支拂  
つた五年度の營業料は千百  
廿四圓六十錢に

### 安全策の工事中に 傾城隧道また狂ふ

#### 動搖止め度ない厄介が 今回まで三年間に九回

常盤線は勿論全國でも稀に  
見る金喰ひトンネルとして  
鐵道省宿年の痛となつて  
る湯本、綴間の傾城山隧道  
は地盤動搖による隧道面  
沈下

### 四倉市場の資金は 十萬圓位の融通か

#### 取扱ひ五萬圓の豫定量を 二十二掛位の標準として

四倉市場は石城郡販賣利なる結果を見るか現在傳へ  
る組合の經營で例年好成绩  
を上げてゐるが本年の取引  
開始は三月十五、六日頃の  
豫定を以て中央金庫に資金  
融通の

### 家出青年 捕はる

茨城縣多賀郡田沼一七〇  
沼津市の取引に於て如何  
海産物同屋芳太郎三男征矢

### 平局の元爲替係が 千五百圓の通帳偽造

#### 去十六日即時拂を請求し 失敗して平署に逮捕さる

青森縣中津輕郡田村大字  
外崎字村元一二、當時石  
城郡中町字胡麻澤一四居  
住阿保俊助(三)は去る大  
十四年より平郵便局に雇  
れ本年四月

### 湯本水道の 起工式

#### 来る廿一日

石城郡湯本町の下水道工  
は工費廿六萬圓を以てこ  
程認可されたが来る廿一  
午前十時より同町温泉社  
に於て之が起工式を舉行  
六月一日より愈々着工す  
こととなつた

### 高坂坑の大落盤 坑夫二十餘名 危く死を免る

石城郡内郷村鑿城炭礦高坂  
坑の上層、坑口より二千四  
百尺の箇所にて昨十七日午  
三時四十分頃長さ十間巾七  
尺の近來稀なる大落盤あり  
當時現場に作業中であつた  
坑夫廿餘名は落盤の兆ある  
を知つて事の起る僅か數分  
前に同所を逃げ出し避難し  
た、幸ひ一名の死傷者も  
出さなかつた

### 鮮満視察團 皆大元氣

#### 本縣の參加者は廿三日歸郷

東京鐵道局主催の鮮滿支那  
視察團の定員二百五十名は  
去る五日朝の東京發出發で  
旅途に向つたが同團體旅行  
には平町の南町山下庄一郎  
氏及び大町の諸橋敬一郎氏  
外常盤沿線の石双相三郎  
ら十數名の參加があるので  
出立九日目の今十八日その  
消息を電報されたところに  
よると下關から釜山、京城  
辭任により今十八日午後一  
時から同町團體事務所樓上  
一同無事進行し目下北京滯  
在中で萬壽山、玉泉山、中  
央農事試驗場の視察中であ  
る廿二日東京歸に歸着の等  
加考は廿三日に歸郷される  
であらうと

### 素行不 名義を

百五十圓の即時拂を請求し  
たるも局員に不審と認めら  
れて退職を命ぜられたが其  
電信及爲替貯金掛等に從  
し昭五年十二月十九日平  
町郵便局より内郷村  
大字宮二八佐藤一  
錢の郵便貯金をなし通帳の  
交付を受けて該金額を金五  
十圓に改竄なし更に同月廿  
九日郵便事務の繁忙時に乘  
じて局員の油断を見計まし  
貯金通帳使用の金九百五十  
圓と金五百圓の金額数字の  
印章、日附印及主務者の  
印を、日附印及主務者の  
百五十圓は同月十九日に預  
け入れたるが如く日附印を  
變更、貯金額合計一千五百  
圓の通帳偽造をなし加之複  
査に複雑ならしめて己が  
ならしめんがため本年二月  
に至り預入名義を石城郡赤

### 藤田前團長に 感謝の宴

去る十六日マ  
ルトモ樓上で  
中町青年團長であつた藤田  
榮助氏多年の在職功勞に對  
して同町の有志者等が  
を町内有志者の發起で去る  
十六日午後七時同町マル  
トモホールに同會を開き左記  
合長は青沼氏に決する模様  
であつた

### 利用組合の 理事選舉

青沼酒井兩氏  
に決まりそう

石城郡販賣利用組合では既  
報の如く組合長山崎與三郎  
氏及び理事諸橋久太郎氏  
辭任により今十八日午後一  
時から同町團體事務所樓上  
一同無事進行し目下北京滯  
在中で萬壽山、玉泉山、中  
央農事試驗場の視察中であ  
る廿二日東京歸に歸着の等  
加考は廿三日に歸郷される  
であらうと

### 觀測さ

れ取引總額  
十四、五萬圓に達する三割  
の資金を除いても約十萬圓  
を要することになるから同  
田係員出張取引關係の調査  
を行ひ監理氏は尙ほ植田、  
村南市場に同様の調査を  
なしたが四倉市場取扱額  
は五萬圓で本年の

### 該工事は

は来月上旬  
頃竣工の豫定であつて方法  
は従来も腰行はれてゐる  
一時凌ぎのレールメントル  
工に過ぎない同隧道に於け  
る斯うした姑息的な應急修  
繕工事は昭和三年以後今日  
まで僅か三年間に於て實に  
九回に及んでゐると

### 熱湯を浴びる

石城郡好間村大字上好間字  
田代系一七〇炭坑難夫鹽田  
平三の次女ヨシ(三)は昨十  
七日午前八時頃洗濯中の母  
へき池緩急の箇所を生じ  
た、母本省より太田監察官  
佐伯技師、橋本第一、池田  
第二兩、改良事務所長以下  
火傷を負ひ生命危篤である

### 捕はる

が来る廿一

**結核豫防を  
教科書に** (三)

智識を小國  
民に入れよ

昨年十一月廿七日省令第一八〇號を以て安達内相が日本醫師會に諮問された、現下世態の實狀に鑑み急速に實現し得べき結核豫防上の適切な方策如何に對し本會より同様に接した石城郡醫師會は常沼川井、金親、小林、木村の五氏を委員に舉げ今回其答申案を決定した左記に掲ぐる物である

(十) 無益なる焦慮、失費より患者を救はんために現今醫學界に於ては公認されたる、結核治療法の概略(例へば安靜、榮養、攝養療法、空氣浴、人工氣胸術等)を記す

○理由  
一 結核智識の普及が、結核豫防の基本たるや、既に定説なり、政府及び自治團體、並に、大日本結核豫防協會及此の種團體は日夜この目的に精進すると雖も、猶現今にありては宣傳効果尠なり、現今幾多の結核く宣傳雜誌、結核くパンフレットの類ありと雖も僅かに結核く患者の一少部分の熟讀を得るのみにて多くの健康者即ち眞に結核く豫防を必要とする大衆よりは棄て、顧みられざる状態なり  
二 結核く療養所、結核く豫防院、結核く相談所、結核く早期診断所の設立が歐米諸國に於て普及し結核く死亡者が激減せるは事實なり

ガソリン  
モビール油  
日本石油  
株式会社

特約販賣  
屋間油  
店商内關

支店 郡山市 驛前大通 電話三三二八  
支店 茨城県 水戸驛前 電話四七三三  
支店 平野四丁目 郵便局前

電話 四六六一 町平城野

元 詰 G.H.N 元 詰  
葡萄酒 葡萄酒  
甘味 葡萄酒  
ゴルフポートワイン  
¥ 1.10

御婦人の方には少し水を加へて召し上るご風味一そう佳美です

(電三) 西村屋藥舖 (平二)

**お醬油は**  
ヤマフル

醬油 味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品

鹽屋  
山崎合名會社

福島縣 郡山  
電話 本 店 部 二七〇番

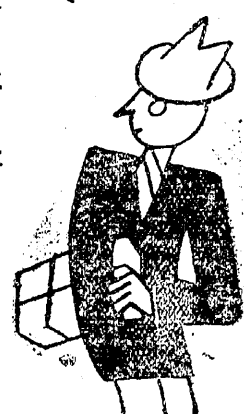
模範  
裁縫

高島屋の洋服

平町驛前 電話三八六番

春着の  
御用意は  
高島屋へ

新柄着荷



はき物は  
電話 五七四

價ハやすく斷然新型で商品切手の便利あり

平町田町通り  
新妻はき物店

諸毒下しの大妙藥  
**安流丸**

持約 山野遠藥局

新装のカフエー  
タヒラ

皆様のお蔭によりまして  
近代的な改造致しました  
食堂に  
ごうぞお出で下さいませ

各品共從來の通り勉強いたします

平驛前 カフエータヒラ  
電話 六二〇番

高島屋

價之低く  
質之高く

食品 産物  
藥品 化粧品

平野四丁目 電話 五七四

傘日・傘洋  
イタクネ・ツヤシイフ

帽 折 中  
一フフ産國  
¥ 5.90

うちつれて、野に、山に  
うららかな初夏の  
ピクニックと旅行に

ヤルツに

〇四一電・四平

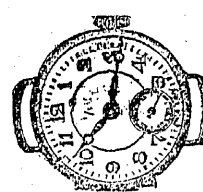

初夏のサロン  
樽詰 生ビール を召せ

カップ一杯十五銭  
そして酔つた後に  
心地よい アイスクリーム  
も御座います 一ケ十五銭

電話 三五二番

新 安 值 段 特 賣

徒弟サン募集

年令 十四五歳

精幸堂時計店  
平町才小路二九

醫院開業

門 專  
花 婦 産  
柳 人 科  
病 科 科

井坂醫院

平町田町(舊合津醫院跡)  
電話 五五四番

服んで良くさく  
(絶対に胃腸を害さぬ)

淋病と  
消渴の  
特效藥 濟淋

本舖 責任製劑 水野藥局

平町一丁目  
振替貯金口座  
仙臺八八七六